

京都不案内

森 まゆみ

京都を暮らすように旅する——。

市民運動のやり過ぎから免疫低下でがんになった。
治療の後、体にいいことをするため京都へときどき転地。
気功をし、映画を見、銭湯に入り、ごはんを食べて語り合う。
観光客の集まる古都とは違う何かが見えてくる。



◎ 本書の内容 ◎

はじめに

第1章 樹木気功で体を治す

第2章 バスと自転車

第3章 ゲストハウスとアパート探し

第4章 カフェとシネマ

第5章 がらがらの京都

インタビュー① 法然院貫主・梶田真章さんに聞く——学びの場としてのお寺

第6章 散歩で建築を楽しむ

第7章 古都の保存と開発

第8章 宿の周りでひとりごはん

第9章 京料理屋の大忠にて

第10章 吉田山の話

インタビュー② 女性史・生活史研究の西川祐子さんに聞く——偶然を必然に変えて

第11章 鴨長明『方丈記』と「足るを知る暮らし」

第12章 子規の京都

第13章 吉井勇と祇園

第14章 漱石の女友達・磯田多佳

インタビュー③ 染織家・志村ふくみさんに聞く——“見えないもの”に導かれて

第15章 つたちゃん、たねちゃんのこと

第16章 ヒッピーとタイガース

第17章 居酒屋で聞く話

第18章 五代友厚と二人のスリランカ人

インタビュー④ 田中ふき子さんに聞く——農婦として六〇年

京都リヴ・ゴーシュ——あとがき

森 まゆみ (もり まゆみ)

1954年生まれ。大学卒業後、PR会社、出版社を経て、84年、地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊。聞き書きから、記憶を記録に替えてきた。その中から『谷中スケッチブック』『不思議の町根津』（ちくま文庫）が生まれ、その後『鷗外の坂』（中公文庫、芸術選奨文部大臣新人賞）、『彰義隊遺聞』（集英社文庫）、『『青鞥』の冒険』（集英社文庫、紫式部文学賞）、『暗い時代の人々』『聖子』（亜紀書房）、『子規の音』（新潮文庫）、『路上のポルトレ』（羽鳥書店）などを送り出している。2015年以降、大病後の健康維持のため京都にしばしば滞在。「谷根千・記憶の蔵」主宰。

■ トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。

トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。（了解者：朝加）

『京都不案内』 森まゆみ 著		世界思想社用 コード	書店印
定価 1,760円 (10%税込) 2022年12月刊行			
四六判・並製/248頁 ISBN978-4-7907-1774-4		QRコード	冊
お名前	ご注文冊数		
世界思想社 〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707			